



2023・11・24

No.16

スエ T の科学の時間



11月17日(金)にスエ T の科学の時間がありました。今回は、「紫芋の紫色の色素を調べよう」というテーマでした。くま組では、園でとれたさつまいもを使ってクッキングをしていたので、紫芋の皮をむくと実まで紫だったことに驚く子どもたち。スライスした紫芋と水スプーン3杯をナイロン袋に入れてもみもみすると水が紫に染まってきました。

紫の水を卵パックに2つに分けて入れ、それぞれに、酢と重曹をとかした水を入れると色はどのように変化するかを観察しました。はじめに酢を入れてみると、赤みの強い明るい色に変化しました。「ピンクや!!かわいい」と嬉しそうに眺めていましたよ。



次に重曹をとかした水を入れてみると黒っぽくなりました。子どもたちの水は、黒っぽくなりましたが、よく見ると青っぽく変化していて、最後にスエ T がさつまいもの皮から出た紫色の水と混ぜると変化が分かりやすかったようです。「なんで〜!?!」と不思議そうな子どもたちでした。

紫色の色素の事を「アントシアニン」と言い、これが含まれている野菜は他にもあり、なすびや紫キャベツ、ぶどう、でも同じ実験ができるそうです。酢の代わりにみかんやゆずの汁でも色の変化を観察できますよ!変化に心をときめかせたり、いろいろな不思議を発見した子どもたち。ぜひお家でも色の不思議を体験してみてくださいね。

